

## 「ふるさと湖南 誇りを胸に」 3つの「あ」の推進

本校のウェブページをご覧ください、誠にありがとうございます。

保護者・地域の皆様には、コロナ禍にかかわらず、本校の教育活動に対し、ご理解・ご協力をいただいておりますこと心より感謝申し上げます。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染対策を引き続き取りながら、児童生徒の「学びを止めない、活動を止めない」という強い想いで義務教育学校3年目を迎える本校の小中一貫教育をさらに前に進めて参ります。その為に昨年度、中止や規模を縮小して行った、学校行事、地域行事を出来るだけ実施したいと思っております。特に春の運動会や秋の水芭蕉祭など、児童生徒が楽しみにしている行事は感染対策を強化し、内容を工夫して実施する予定です。

本年度は本校の教育目標である「ともに生き 未来を創る たくましい 湖南の子」の育成を目指し、新たに3つの「あ」に取り組んでいきます。この3つの「あ」とは、「あいさつ」「アウトプット」「あきらめない心」の頭文字です。あいさつで「人とかかわる力」、アウトプットで「表現力」、あきらめない心で「やり抜く力」をさらに身につけさせたいと思っております。例えば人とかかわる基本である「あいさつ」は教育活動全体で日常的に子どもたちに指導し、教師も率先垂範していきます。「アウトプット」は授業や行事の中で児童生徒の発表や説明する機会を多く設けます。「あきらめない心」は勉強や運動、そして行事などでも最後までやり抜くことができるようにします。9年間でこの汎用的な力を身に付けさせたいと思っております。この力は、子どもたちが将来大人となり社会生活をする上でとても重要で大切な力となり、さらに生きる力につながると考えます。また、この3つの「あ」の取り組みは学校だけで行うものでなく、家庭や地域でも共有できればさらに子どもたちの成長につながると思っております。

今年度は、この3つの「あ」を前面に出し、授業や行事、部活動などあらゆる教育活動で展開していきたいと思っておりますので、保護者・地域の皆様にもこの3つの「あ」をぜひ意識していただきたいと思っております。

さて、本校は5つの小学校（月形小、中野小、三代小、福良小、赤津小）の課題であった少子化による複式学級の増加、表現力や切磋琢磨する力の育成、さらには6・3年制における課題である小6と中1の接続の部分における生徒指導、学習指導の連携強化や、教員の小中それぞれ教育課程に関する理解不足など様々な課題を解決するために、地元の熱意のもと全国に先駆けて平成17年4月1日に小中一貫校としてスタートしました。

湖南小中一貫教育は地域の教育素材の活用と、小中学校の教職員が協力して指導の連続性を確保し、発達段階に応じて適切な指導を行い、義務教育一年一年を確実につなぎ、児童生徒一人一人に豊かな心を基盤とした確かな学力、健康・体力を身に付けさせる教育活動を実施しております。さらに小中一貫教育校として積み重ねてきたこれまでの成果を生かしながら、市当局や関係団体と検討を重ね、平成31年4月1日に義務教育学校に移行し新たにスタートしたところです。今後も開校当時の熱き思いを受け継ぐとともに「地域の学校」として保護者や地域の要望・意見を取り入れ、そして「子どもたちにとってより良い教育環境にするには」という視点を大切にしながら、学校経営に努めて参りますので本年度もよろしくお願いいたします。

郡山市立湖南小中学校長 小林 雅